

# TOTO

## 化粧鏡(横長タイプ450×1200)

### UGM1200

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。  
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 安全上のご注意

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。  
●表示と意味はつぎのようになっています。

**警告** 誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

**禁止** してはいけない「禁止」の内容です。

**注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。

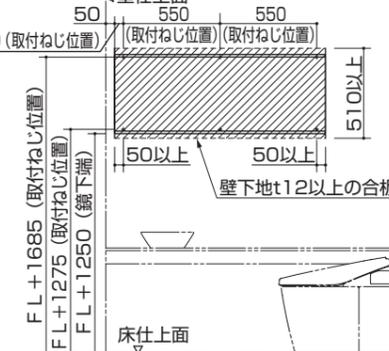
**強制** 必ず実行していただく「強制」の内容です。

	浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。		鏡やガラスに無理な力や強い衝撃を与えない 破損したガラスの破片により、けがやときに死亡の原因となります。
	器具取り付け用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線をしていない 火災や感電の原因となります。水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。		屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取り付けない 取り付けが不安定になり、落下してけがやときに死亡の原因となります。
	取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。		工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。
	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる 取り付け物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。		商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する 取り付け物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。
機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者電気工事士が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。			

	取付金具は上下逆に取り付けない 鏡が外れて落下したり、破損したりしてけがの原因となります。		取付金具の解体は、絶対にしない 鏡が落下したり、外れたりしてけがの原因となります。
	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。		商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。
	取付金具を単品で作動させる場合には図のように取付金具を持ち作動させる指をはさみ、けがをするおそれがあります。		ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損し、けがをする原因となります。
	取付金具および鏡本体は、指定位置に取り付ける 鏡が落下したり、外れたりしてけがの原因となります。		推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。
設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。			

### 取り付け前のご注意

- 器具取り付け部の壁面には、図示位置に壁下地としてt12以上の合板(JAS規格相当)を入れておいてください(壁下地の合板は両端を受け木または間柱などにしっかり固定してください)。
- タイル/コンクリート壁の場合は固定ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。

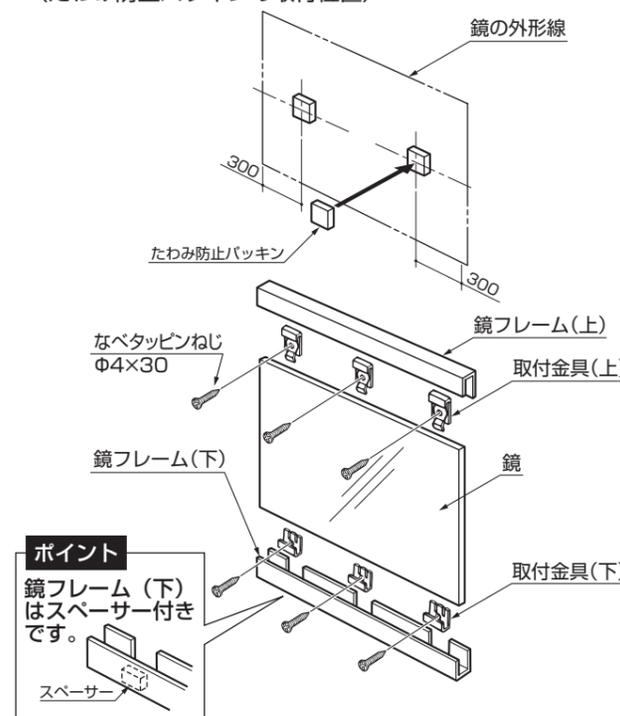


### 部品の確認

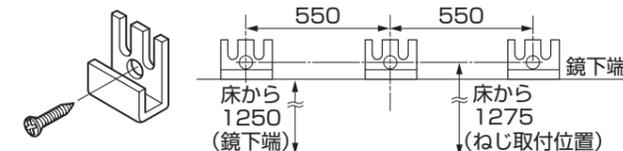
①鏡 (1枚)	②取付金具(上) (3個)	③取付金具(下) (3個)
④鏡フレーム(上) (1本)	⑥φ4×30なべタッピンねじ (6本)	⑦フレーム着脱用プレート 30×30×1 (1枚)
⑤鏡フレーム(下) (1本)	⑧たわみ防止パッキン (2個)	⑨施工説明書(本書)
※スペーサー付き		⑩取扱説明書

### 取付方法

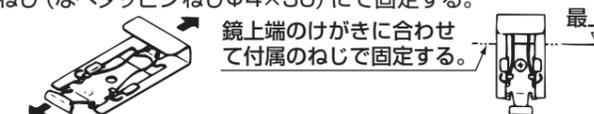
#### 1. たわみ防止パッキン・取付金具・鏡の取り付け (たわみ防止パッキンの取付位置)



- 1) たわみ防止パッキンの裏紙をはがし、壁に貼り付ける。  
※貼り付ける面の汚れは、きれいにふき取ってください。
- 2) 鏡の取付位置を確認し、取付金具(下)を付属のねじ(なべタッピンねじφ4×30)にて固定する。(3ヶ所)



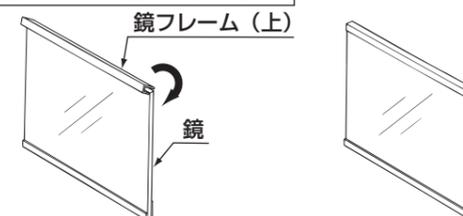
- 3) 鏡を下側の取付金具(下)に仮置きし、鏡の上端面に合わせ、壁面にけがき線を入れ、鏡をはずす。(鏡の落下に注意する)
- 4) 取付金具(上)を引き伸ばし、線上端のけがき線に合わせて付属のねじ(なべタッピンねじφ4×30)にて固定する。



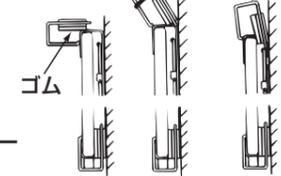
- 5) 鏡を再び下側の取付金具にのせ、鏡を壁に押しつけながら、上側の取付金具を充分下方に押しつける。  
※取付完了後に、上側取付金具が最後まで下がっているか確認してください。



#### 2. 鏡フレーム(上)の取り付け

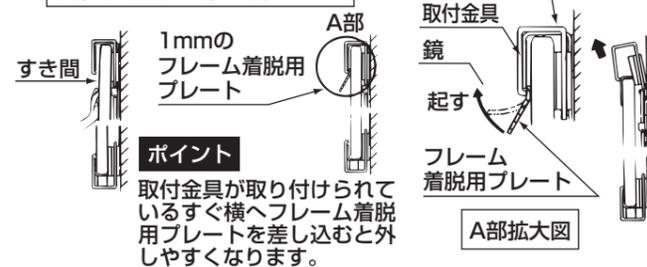


- 1) 鏡と鏡フレームの左右を合わせ鏡の端部へ鏡フレームのゴム部を水平にあてる。
- 2) 鏡フレームを壁面と鏡裏面との間へ回しこむようにして入れる。
- 3) 鏡フレームを下方へカチッと音がするまで押し込む。



※上フレームと同じ要領にて下フレームの取り付けを行ってください。

#### 鏡フレームの取り外しかた



- 1) 取付金具が取り付けられている付近の鏡表面を手のひらで押し、左図のように鏡とフレームの間にすき間をつくる。
- 2) 鏡とフレームの間に厚さ1mmのフレーム着脱用プレート(同梱)を差し込む。
- 3) 差し込んだフレーム着脱用プレートを左図のように起こすとカチッと音がして、フレームから取付金具が外れます。
- 4) その他の取付金具も同じ要領で外す。